



2021年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年4月13日

上場会社名 株式会社農業総合研究所 上場取引所 東
 コード番号 3541 URL <https://www.nousouken.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 寛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 坂本 大輔 TEL 03-6417-1047
 四半期報告書提出予定日 2021年4月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第2四半期の業績 (2020年9月1日～2021年2月28日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	2,192	47.4	△87	—	△104	—	△75	—
2020年8月期第2四半期	1,487	—	△13	—	△8	—	△9	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	△3.53	—
2020年8月期第2四半期	△0.45	—

(注) 1. 2019年8月期第2四半期は連結財務諸表を作成していたため、2020年8月期第2四半期対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2021年8月期第2四半期	2,419	1,128	1,128	644	46.7
2020年8月期	1,751	644	644	—	36.8

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 1,128百万円 2020年8月期 644百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年8月期	—	0.00	—	—	—
2021年8月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2021年8月期の配当予測につきましては、現在未定であります。

3. 2021年8月期の業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高	
	百万円	%
通期	4,000	15.2
	～ 4,400	～ 26.7

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 2021年8月期の業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大による事業環境の変化による影響を鑑み、レンジ形式により開示しております。売上高以外の業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表させていただきます。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期2Q	21,770,200株	2020年8月期	21,014,500株
② 期末自己株式数	2021年8月期2Q	270株	2020年8月期	270株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期2Q	21,502,721株	2020年8月期2Q	21,004,730株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

全国の農業総産出額は、コメ、野菜等の需要に応じた生産の進展等から増加傾向で推移していましたが、野菜等において生産量の増加から価格が低下したことから、2019年は前年に比べ1,620億円減少したものの、8兆8,938億円と引き続き高い水準を維持しております。他方で、2020年2月時点の農業経営体のうち、個人経営体は103万7千経営体で、2015年に比べ30万3千経営体減少した一方、団体経営体は3万8千経営体で1千経営体増加しております(出典:農林水産省「生産農業所得統計」)。農業経営体の減少が続く中、法人化や規模拡大の進展が継続し、農業集約化の動きも加速するものと予想されます。

当第2四半期累計期間は、期初において高値圏にあった青果価格が、全国的な好天により供給過多となった影響で最安値水準まで低下する値動きの大きい相場状況であったものの、新型コロナウイルス感染症の長期化による2回目となる緊急事態宣言に伴う巣ごもり消費や内食需要の拡大を背景に青果需要は堅調に推移いたしました。

このような環境のもと、特に大型生産者との取引拡大を図り、より多くの生活者に「おいしい」をお届けするために、これまで当社が進めてきた農家の直売所事業に加え、スーパー等の通常の青果売場で販売する産直卸事業を推進いたしました。また、富山中央青果株式会社と連携協力に関する協定書を締結し、新しい農産物流通の創造に向けた取組を開始いたしました。さらに、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社福岡ソノリク及び株式会社社農林漁業成長産業化支援機構を割当先として約5.6億円の第三者割当増資を行い、同時に東日本旅客鉄道株式会社及び株式会社福岡ソノリクと業務提携契約も締結するなど、既存の農産物流通プラットフォームの高度化のため、他社とのアライアンスも積極的に展開いたしました。一方、流通総額のさらなる拡大に備えたシステム開発や産直卸事業の推進のための人材投資の実施により、販売費及び一般管理費が前年同期比で増加いたしました。

このような取組みの結果、当社の重要な経営指標である流通総額は当第2四半期累計期間において5,797,599千円(前年同四半期比17.2%増)、2021年2月末日時点でスーパーマーケット等の国内小売店への導入店舗数は1,672店舗(前事業年度末より53店舗増)、農産物の集荷拠点である集荷場は93拠点(前事業年度末より1拠点増)、登録生産者は9,506名(前事業年度末より233名増)まで拡大いたしました。当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高は2,192,204千円(前年同四半期比47.4%増)、営業損失は87,485千円(前年同四半期は営業損失13,072千円)、経常損失は104,517千円(前年同四半期は経常損失8,692千円)、四半期純損失は75,977千円(前年同四半期は四半期純損失9,485千円)となりました。

また、当社の事業は、単一のセグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比べ668,361千円増加し、2,419,623千円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比べ508,140千円増加し、1,918,722千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加370,181千円、売掛金の増加129,582千円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比べ160,220千円増加し、500,901千円となりました。これは主に、無形固定資産の増加102,222千円、投資その他の資産の増加43,660千円によるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比べ184,364千円増加し、1,290,831千円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比べ88千円減少し、1,010,094千円となりました。これは主に、買掛金の減少22,662千円、短期借入金の増加45,200千円、未払法人税等の減少20,667千円等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比べ184,453千円増加し、280,737千円となりました。これは主に、長期借入金の増加180,008千円等によるものであります。

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比べ483,996千円増加し、1,128,791千円となりました。これは主に新株発行による資本金の増加279,986千円、資本準備金の増加279,986千円、四半期純損失75,977千円の計上によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前会計年度末と比較して370,181千円増加し、984,683千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は231,859千円減少しました(前年同四半期は78,551千円の増加)。これは主に、税引前四半期純損失104,517千円、売上債権の増加129,582千円、仕入債務の減少22,662千円、未払金の増加29,848千円、法人税等の支払額18,493千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は162,665千円減少しました(前年同四半期は69,386千円の減少)。これは主に、有形固定資産の取得による支出19,515千円、無形固定資産の取得による支出129,860千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は764,707千円増加しました(前年同四半期は22,384千円の減少)。これは、長期借入れによる収入200,000千円、株式の発行による収入541,243千円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年10月14日の「2020年8月期決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	614,501	984,683
売掛金	772,820	902,403
その他	27,895	35,818
貸倒引当金	△4,636	△4,183
流動資産合計	1,410,581	1,918,722
固定資産		
有形固定資産	43,677	58,015
無形固定資産	143,852	246,074
投資その他の資産	153,150	196,811
固定資産合計	340,680	500,901
資産合計	1,751,262	2,419,623
負債の部		
流動負債		
買掛金	652,534	629,871
短期借入金	54,800	100,000
1年内返済予定の長期借入金	41,384	39,984
未払金	161,732	166,824
未払法人税等	28,608	7,941
賞与引当金	37,763	40,519
その他	33,358	24,952
流動負債合計	1,010,182	1,010,094
固定負債		
長期借入金	86,712	266,720
その他	9,572	14,017
固定負債合計	96,284	280,737
負債合計	1,106,467	1,290,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	214,448	494,435
資本剰余金	199,448	479,435
利益剰余金	231,141	155,164
自己株式	△242	△242
株主資本合計	644,795	1,128,791
純資産合計	644,795	1,128,791
負債純資産合計	1,751,262	2,419,623

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
売上高	1,487,268	2,192,204
売上原価	527,986	1,103,839
売上総利益	959,282	1,088,364
販売費及び一般管理費	972,354	1,175,849
営業損失(△)	△13,072	△87,485
営業外収益		
受取賃貸料	1,377	1,230
助成金収入	3,297	—
その他	962	1,647
営業外収益合計	5,638	2,877
営業外費用		
支払利息	517	563
賃貸費用	741	615
株式交付費	—	18,729
営業外費用合計	1,258	19,909
経常損失(△)	△8,692	△104,517
税引前四半期純損失(△)	△8,692	△104,517
法人税、住民税及び事業税	2,703	2,497
法人税等調整額	△1,910	△31,037
法人税等合計	793	△28,539
四半期純損失(△)	△9,485	△75,977

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△8,692	△104,517
減価償却費	8,543	12,481
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△444	△453
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,352	2,755
受取利息	△3	△20
支払利息	517	563
株式交付費	-	18,729
たな卸資産の増減額(△は増加)	△487	△4,421
売上債権の増減額(△は増加)	103,771	△129,582
仕入債務の増減額(△は減少)	10,451	△22,662
未払金の増減額(△は減少)	△7,137	29,848
その他	△18,661	△15,541
小計	97,209	△212,819
利息の受取額	3	20
利息の支払額	△515	△566
法人税等の支払額	△18,146	△18,493
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,551	△231,859
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,091	△19,515
無形固定資産の取得による支出	△18,580	△129,860
関係会社株式の取得による支出	△50,004	△3,400
その他	289	△9,890
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,386	△162,665
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	45,200
長期借入れによる収入	-	200,000
長期借入金の返済による支出	△22,092	△21,392
株式の発行による収入	-	541,243
その他	△292	△344
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,384	764,707
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13,219	370,181
現金及び現金同等物の期首残高	516,826	614,501
現金及び現金同等物の四半期末残高	503,607	984,683

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年11月4日付で、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社福岡ソノリク及び株式会社農林漁業成長産業化支援機構から第三者割当増資の払い込みを受けました。この結果、当第2四半期累計期間において資本金が279,986千円、資本準備金が279,986円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が494,435千円、資本準備金が479,435千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)

当社は、農家の直売所事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)

当社は、農家の直売所事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。